

---

# 名張市水道事業経営戦略

---

2021(令和3)年度 ▶ 2030(令和12)年度

# 名張水道事業経営戦略

## 【目次】

第1章 経営戦略の策定にあたって .....	1
1. 策定の目的 .....	1
2. 位置づけ .....	1
3. 基本理念 .....	2
4. 策定方法 .....	3
第2章 名張市水道事業の現状 .....	5
1. 水道事業の概要.....	5
2. 施設及び管路等の状況 .....	15
3. 水需要の見通し.....	24
4. 経営の状況 .....	25
5. これまでの取組.....	36
6. 現状の問題と課題.....	38
第3章 経営戦略 .....	41
1. 基本方針 .....	41
2. 投資試算と財源試算による見通し.....	42
3. 目標設定 .....	48
4. 投資・財政計画.....	53
5. 経営健全化の取組.....	60
6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 .....	63

# 第1章・経営戦略の策定にあたって

## 1. 策定の目的

本市の水道事業は、1965（昭和40）年2月2日に一部給水を開始し、高度経済成長期の拡張時期を経て、給水開始から既に50年以上を経過しています。

現在の水道事業を取り巻く環境は依然厳しく、人口減少と節水機器の普及などによる給水量の減少傾向は継続しており、それに伴う給水収益の減少が事業経営に及ぼす影響も大きくなっています。一方で、異常気象の発生頻度増加による風水害などのこれまで想定されていなかったリスクへの対応、高度経済成長期以降の水需要の増加に対応するために整備された水道施設が、近い将来、経年化等による更新対象となり、その更新への対応に莫大な投資が必要となっています。

このような状況において、本市の水道事業が将来にわたって、安定的に継続していくためには、事業運営の効率化を図るとともに、事業経営に必要な財源を確保し、経営の健全化を図る必要があります。

そのため、中長期的な視点に立った経営の基本計画となる名張市水道事業経営戦略を策定します。

## 2. 位置付け

名張市水道事業経営戦略は、「公営企業の経営に当たっての留意事項について（平成26年8月29日付け総務省通知（総財公第107号・総財営第73号・総財準第83号）」に基づき将来にわたって安定的に事業を継続していくための経営の基本計画です。

図-1に示すとおり、本市の総合計画である「新・理想郷プラン」や「第2次名張市水道ビジョン」といった上位計画との整合を図りつつ、今後の10年間における経営の基本的な考え方、投資試算や財源試算、収支ギャップの解消など経営健全化に向けた取組を定めています。



なばりのナッキー

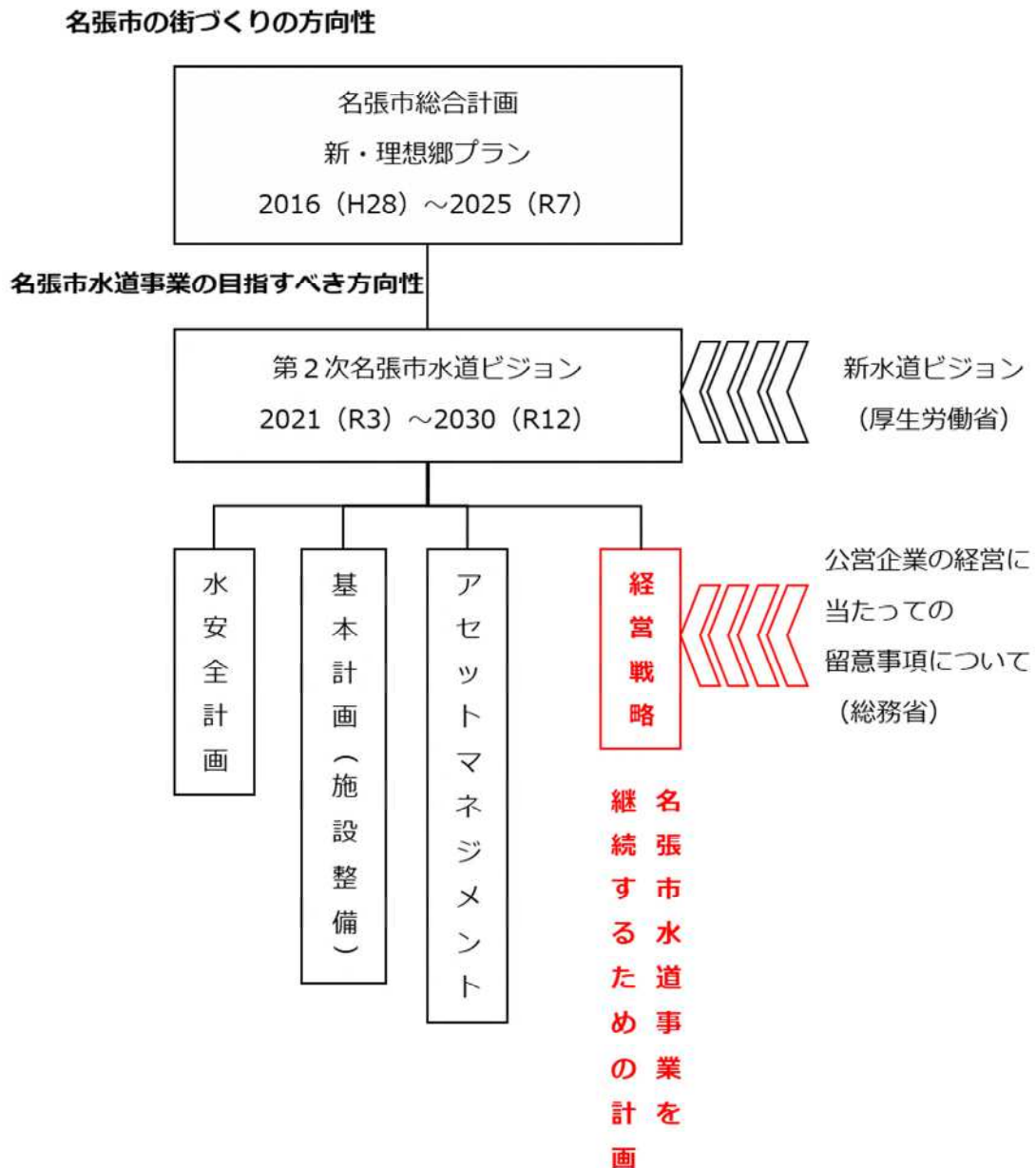


図-1 名張市水道事業経営戦略の位置づけ

### 3. 基本理念

上位計画となる第2次名張市水道ビジョンで掲げた基本理念「**くらしと未来を支え続ける 名張の水道**」とその理念を実現するために掲げられた目指すべき三つの理想像「**安全で信頼される水道**」「**災害に負けない強靱な水道**」「**健全で安定的に持続可能な水道**」を、名張市水道事業経営戦略の基本理念とします。

4. 策定方法

「公営企業の経営に当たっての留意事項について」に従い、図-2 に示した策定プロセスのとおり、投資試算と財源試算の検討結果を踏まえて、投資と財源が均衡するように調整した投資・財政計画を策定し、計画を実現するための経営健全化への取組を行います。

また、名張市水道事業経営戦略の計画期間は、「経営戦略策定・改定ガイドライン（総務省）」に示されているとおり、中長期的な視点から経営基盤の強化等の取組ができるように、投資・財政計画の期間は10年以上を基本として、おおむね20年間を見通しつつ、2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間とします。

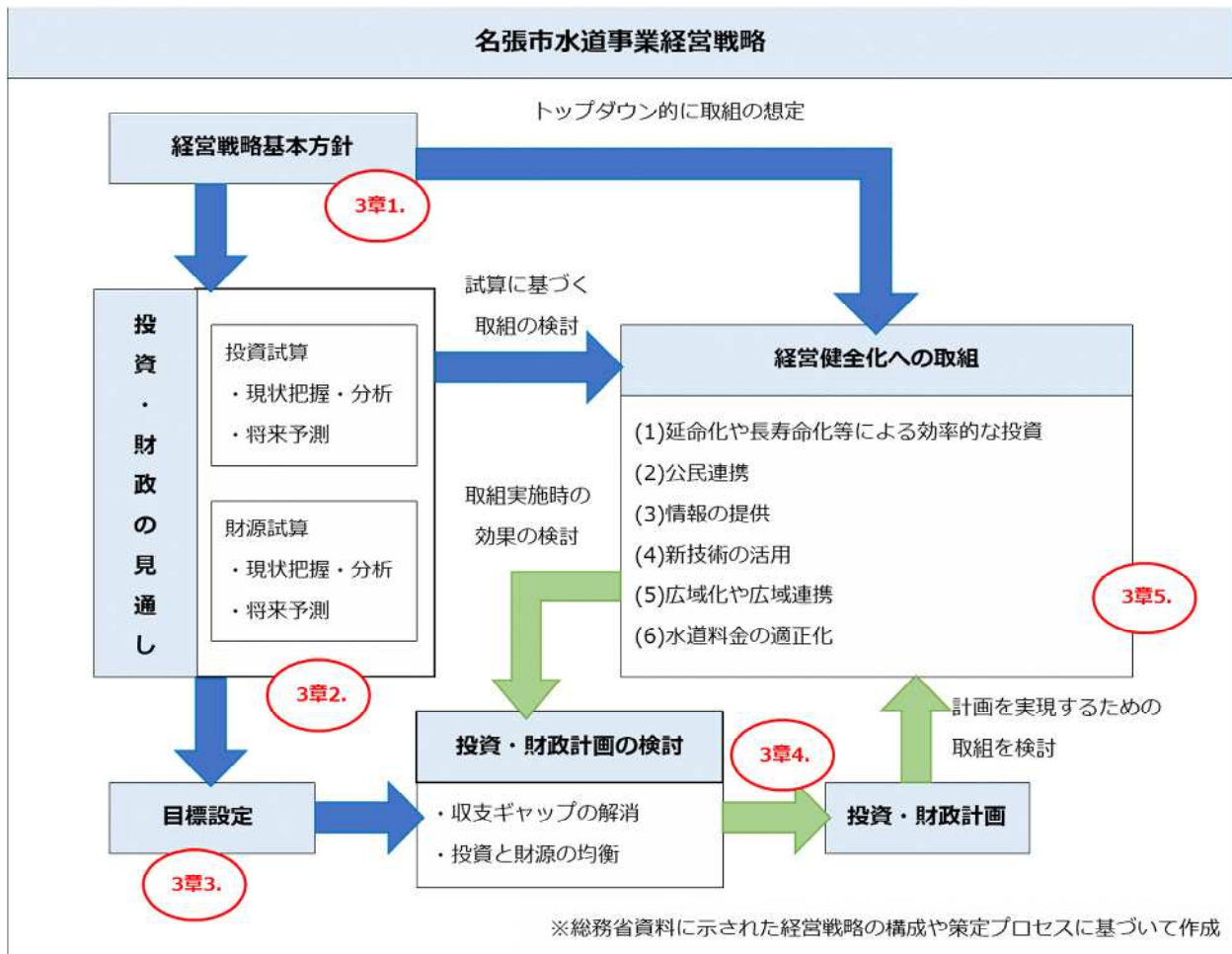


図-2 名張市水道事業経営戦略の策定プロセス

